

# 令和4年度 事業報告書

自 令和 4年4月 1日

至 令和 5年3月31日

公益財団法人 三井住友海上福祉財団

# 令和4年度事業報告書

## I. 事業

### 1. 概要

当年度は、MS&ADインシュアランスグループホールディングスの株式配当、上場株式投資信託(ETF)の配当と債券利息を合わせ、従来の事業規模を維持しうる運用収入が得られた。事業費総額は5,074万円となり、引き続き着実な事業活動を行うことができた。

当財団の事業は「交通安全等」と「高齢者福祉」を2本の柱としているが、助成事業付帯費872万円を除く助成金の分野別内訳は、交通安全等が1,517万円、高齢者福祉が2,685万円となった。

なお、当財団が昭和50年に発足以来の助成金の累計総金額は25億4,866万円、累計総件数は2,271件となっている。

### 2. 事業実績

当年度の事業分野別、事業種類別の助成件数、助成金額は次のとおり。

#### (1) 交通安全等分野

	助成件数	助成金額(万円)
研究	16	1,409
著作・論文表彰	1	30
普及・啓発	4	79
助成金計	21	1,517

#### (2) 高齢者福祉分野

	助成件数	助成金額(万円)
研究	23	2,535
著作・論文表彰	1	50
施設・事業	1	100
助成金計	25	2,685

#### (3) 事業費合計(交通安全等+高齢者福祉)

	助成件数	助成金額(万円)
研究	39	3,944
著作・論文表彰	2	80
普及・啓発	4	79
施設・事業	1	100
助成金計	46	4,202
付帯費計		872
事業費合計(助成金+付帯費)		5,074

### 3. 当年度の主な事業

当年度における助成内容、助成先および助成金額は別紙「事業一覧」のとおり。

#### (1) 研究助成

当財団の助成事業の中心は研究助成であるが、当年度についても合計 39 件、総額 3,944 万円の研究助成を行った。これは、助成金総額の 93.9%を占めている。

##### ①国内研究助成

###### a. 応募と決定の件数

研究助成の応募件数、要望金額ならびに決定件数、決定金額は次のとおり。

	応募件数	要望金額(万円)	決定件数	決定金額(万円)
交通安全等分野	27	4,531	8	910
高齢者福祉分野	93	15,460	23	2,535
合計	120	19,991	31	3,445

###### b. 募集、選考および決定の状況

当年度は、2022年4月1日から6月30日の期間で募集を行った。募集にあたっては、できるだけ広くから多数の応募を受けられるよう、「応募要項」を当財団のホームページに、また「応募要項要旨」を助成財団センター発行の『助成金応募ガイド』、大学病院情報ネットワーク（略称 UMIN）のホームページほかの媒体に掲載するなど周知に努め、応募件数は合計 120 件となった。

交通安全等分野では書面による 2 段階の審査を行い 8 件 910 万円を、高齢者福祉分野では選考委員会を 9 月 22 日に開催し 23 件 2,535 万円を選定した。選考結果を 10 月の理事会で諮り助成を決定した。当年度も幅広いテーマから水準の高い研究を選ぶことができた。

##### 選考委員

交通安全等 高田 邦道（委員長） 日本大学名誉教授 交通工学  
鈴木 春男 千葉大学名誉教授 交通社会学  
太田 博雄 東北工業大学名誉教授 交通心理学  
関根 太郎 日本大学理工学部教授 自動車工学  
小川 武希 東京慈恵会医科大学名誉教授 救急医学

高齢者福祉 大内 尉義（委員長） 虎の門病院顧問 老年医学  
大泉 博子 元衆議院議員、元国際医療福祉大学客員教授 ソーシャルサービス  
児玉 桂子 日本社会事業大学名誉教授 福祉生活環境学  
島崎 謙治 国際医療福祉大学大学院教授 社会保障法・医療政策  
岩本 俊彦 東京医科大学名誉教授  
秋下 雅弘 東京大学大学院医学系研究科  
加齢医学(老年病学)教授 老年医学

###### c. 研究結果の開示

令和 2 年度に助成した研究を中心に、合計 48 件の研究結果を収録した「研究結果報告書集 第 26 巻」（A4 判 202 頁）を 7 月に刊行し、研究者および関係先に配布したほか、同書の内容を当財団のホームページにも掲載した。また、当財団が助成した研究の成果を広く活用いただけるよう、研究結果報告書集を公開するサイトに検索機能を追加搭載した。

なお、これまでに当財団が助成決定した研究課題のリスト（助成研究課題、助成対象者および助成金額）は、当財団のホームページで公開しているほか、助成財団センターにも提供している。

## ②海外研究助成

海外研究助成は平成 19 年度に三井住友海上アジア持株会社、2018 年度に明台産物保険社の協業を得て開始した。現在はタイと台湾において交通安全等分野の研究助成事業を行っている。

国内に準じた方法で募集・選考を行い、交通安全等分野で 8 件、総額 499 万円の研究助成を行った。

## (2) 「三井住友海上福祉財団賞」－ 著作・論文表彰 －

交通安全等と高齢者福祉の分野での優れた著作・論文を表彰する「三井住友海上福祉財団賞」の募集を行い、交通安全等分野で 4 件、高齢者福祉分野で 9 件の応募があった。

- ① 募集対象期間 2020 年 4 月から 2022 年 3 月の 2 年間に発表された研究
- ② 募集方法 自薦および他薦
- ③ 応募期間 2022 年 4 月 1 日から 6 月 30 日まで

前記の研究助成と同様に厳正なる選考を行った結果、交通安全等分野において「財団奨励賞」として論文 1 点、高齢者福祉分野において「財団賞」として著作 1 点が選考された。選考結果を 10 月 27 日開催の第 149 回理事会に諮り、財団賞（副賞 50 万円）および財団奨励賞（副賞 30 万円）の贈呈を決定した。

### 【交通安全等分野】

財団賞 該当者なし

財団奨励賞 －論文 1 点－

著者：藤田 幸 島根大学 医学部医学科 教授

題名：Inhibition of HDAC increases BDNF expression and promotes neuronal rewiring and functional recovery after brain injury.

ヒストンデアセチラーゼ阻害剤は、脳由来神経栄養因子 BDNF の発現を増加し、外傷性脳損傷後の神経回路修復及び運動機能回復を促す

### 【高齢者福祉分野】

財団賞 －著作 1 点－

著者：赤林 朗 東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 医療倫理学分野 教授

題名：Bioethics Across the Globe

地球をまたぐ生命倫理

財団奨励賞 該当者なし

### (3) 普及・啓発助成

当年度も、内閣府が主催する春・秋の全国交通安全運動に協賛して同運動用のポスターを寄贈したほか、交通安全フォーラム開催への協賛など4件、79万円の助成を実施した。

### (4) 施設・事業助成

デイサービス利用者の送迎等に使用する介護用福祉車両購入費用の補助として、1施設に100万円の助成を行った。

## 4. 研究助成および財団賞の贈呈式開催

国内研究助成・財団賞の贈呈式を令和4年11月24日に六本木・住友会館において開催した。

来賓の内閣府大臣官房審議官（政策調整担当）黒瀬敏文様からご挨拶をいただき、交通安全等分野は高田邦道選考委員長から、高齢者福祉分野は大内尉義選考委員長から講評が行われた。その後、柄澤理事長から財団賞・財団奨励賞受賞者に表彰状、研究助成対象者に贈呈状が手交され、研究助成対象者1名と財団賞受賞者1名による記念講演が行われた。

海外研究助成の贈呈式は令和4年12月28日に台湾の台北、令和5年1月27日にタイのバンコクで開催され、各研究者へ目録が贈呈された。

## II. 理事会・評議員会

### 1. 理事会

○理事全員の書面による同意に基づく決議の省略

理事会の決議があったとみなされた日：令和4年5月24日

理事会の決議があったものとみなされた事項：

- (1) 令和3年度事業報告および決算、並びに行政庁への定期提出書類承認の件
- (2) 評議員会の決議事項提案の件

○第148回理事会  
第1号議案  
令和4年6月16日開催  
理事長選任の件

○第149回理事会  
第1号議案  
第2号議案  
第3号議案  
第4号議案  
第5号議案  
第6号議案  
第7号議案  
第8号議案  
令和4年10月27日開催  
令和4年度研究助成事業承認の件  
令和4年度財団賞、財団奨励賞授賞承認の件  
高齢者福祉分野・施設助成承認の件  
旅費規程の一部改定承認の件  
資産運用規程の一部改定承認の件  
研究結果報告書web検索機能搭載承認の件  
定款の一部改定評議員会付議承認の件  
第22回評議員会（臨時）の招集承認の件

○第150回理事会  
第1号議案  
第2号議案  
令和5年3月9日開催  
令和5年度事業計画および令和5年度予算承認の件  
財団賞授賞先一覧等の財団オフィシャルサイトへの掲載承認の件

第 3 号議案	第 33 回日本老年学会総会の「高齢者の自動運転をめぐって」シンポジウムの共催・助成承認の件
第 4 号議案	高齢者福祉分野・施設助成承認の件

## 2. 評議員会

○第 21 回評議員会	令和 4 年 6 月 16 日開催
第 1 号議案	令和 3 年度事業報告および決算承認の件
第 2 号議案	理事選任の件
第 3 号議案	評議員選任の件
○第 22 回評議員会	令和 5 年 3 月 9 日開催
第 1 号議案	定款一部改定承認の件
第 2 号議案	常勤理事の令和 5 年度報酬承認の件
第 3 号議案	評議員選任の件

## III. その他

### 1. 年次報告書の発行

年次報告書「一年のあゆみー2021 年度年報」を令和 4 年 7 月に発行した。

公益財団法人 三井住友海上福祉財団  
令和4年度事業一覧

(1) 交通安全等

①研究助成

a. 国内

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
1	富山大学 准教授	猪井 博登	地方都市における戦略的な積雪対策のための交通および気象データの関係性分析	80
2	東京理科大学 理工学部土木工学科 助教	鈴木 雄	高齢者の公共交通乗り放題施策による交通行動・免許返納意識の変化	130
3	全信工協会 理事	竹野 誠一	被災後の交通信号施設の早期復旧に関する研究 (特に、東日本大震災の教訓から)	110
4	大阪工業大学 工学部都市デザイン工学科 特任准教授	西堀 泰英	無信号横断歩道の一時停止率向上に向けた横断歩道の形状及び周辺環境に関する研究	120
5	日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター/ショック・外傷センター MCI 対応研究チーム 助教	益子 一樹	普及を見据えたネットワーク型トリアージシステムの構築、開発に関わる研究	130
6	千葉大学大学院 医学研究院整形外科学 大学院生	三浦 正敬	人工知能を用いた、脊椎脊髄損傷患者のMRI画像生成モデルの開発	115
7	豊田工業高等専門学校 教授	山岡 俊一	幾何構造に着目した生活道路の無信号交差点における一時停止率への影響要因分析	80
8	日本大学大学院 理工学研究科博士前期課程 交通システム工学専攻2年	吉村 暢洋	歩行者優先のための注意喚起機能を付加した無信号横断歩道施設に関する研究	145

b. 海外

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
9	Specialist Lecturer Faculty of Architecture, Chiang Mai University	Zi Liang Huang	-Creating a user dynamic pedestrian traffic crossing- a case study and impact assessment in Chiang Mai University (一利用者動向対応横断歩道の設置ーチェンマイ大学におけるケーススタディと影響評価)	61
10	Dean Engineering Faculty Thai-Nichi Institute of Technology	Anchalee Supithak	The Study of Awareness of Child Car Restraint Compliance and the Prediction of Parents' Intention to Use in Thailand (タイにおけるチャイルドシート遵守意識と保護者の利用意向予測に関する研究)	55
11	Associate Professor School of Engineering and Technology, and Center of Excellence in Sustainable Disaster Management, Walailak University	Thanongsak IMJAI	Improving traffic safety of vulnerable users and energy efficiency with 'glow in the dark' road markings (「暗闇で光る」路面標示による交通弱者の安全とエネルギー効率の改善)	61
12	Assoc Prof School of Public Health Walailak University	Sanhawat Chaiwong	The effect of family-centered approach, the reality education for drivers (RED theories) program, and five road safety education program to the youth's awareness of road safety in Nakhon Si Thammarat province (家族中心のアプローチ、運転者のための現実教育 (RED理論) プログラム、および5つの交通安全教育プログラムがナコンシータマラート県の若者の交通安全に対する意識に与える影響)	61

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
13	Second year of Graduate School Department of Transportation and Communication Management Science, National Cheng Kung University	張海威 Chang Hai-Wei	An Analysis of the Risk Level of Scooter Rider's Behavior Applied to Couriers' Fragmented Usage-Based Insurance (宅配業者の細分化テレマティクス保険が適用されるスクーターライダーの行動のリスクレベル分析)	91
14	Master Student National Yang Ming Chiao Tung University Transportation and Logistics Management	葉家榮 Chia-Jung, Yeh	Exposure-based Insurance System based on Accident-prone Map and User Travel Trajectories (事故多発マップと利用者の移動歷程に基づく危険度に応じた保険制度)	91
15	Associate Professor Department of Transportation and Logistics Management, NCYU	吳宗修 T. Hugh Woo	The Behavior of Foreigners Using Electric Bicycles (電動自転車を利用する外国人の行動)	88
16	Associate Professor Program in Ocean Tourism Management, National Taiwan Ocean University	黃昱凱 Yu-Kai Huang	Constructing a Risk Assessment Model for AI Transportation Systems from the Viewpoint of Antifragility (反脆弱性の観点からのAI交通システムのリスク評価モデルの構築)	91

研究助成 小計 16件 1,509万円

(内 明台産物社負担100万円)

②著作・論文表彰

著者		題名	副賞 (万円)
島根大学 医学部医学科 教授	藤田 幸	【論文】 Inhibition of HDAC increases BDNF expression and promotes neuronal rewiring and functional recovery after brain injury. ヒストンデアセチラーゼ阻害剤は、脳由来神経栄養因子BDNFの発現を増加し、外傷性脳損傷後の神経回路修復及び運動機能回復を促す	財団奨励賞 30

著作・論文表彰 小計 1件 30万円

③普及・啓発助成

No.	助成先	助成内容	助成金額 (万円)
1	(一財)日本交通安全教育普及協会	「交通安全ファミリー作文コンクール」募集ポスター作成費用他	59
2	内閣府(政策調整担当)	「秋の全国交通安全運動」ポスター作成配付費用	5
3	交通安全フォーラム推進協議会	「交通安全フォーラム」協賛	10
4	内閣府(政策調整担当)	「春の全国交通安全運動」ポスター作成費用	5

普及・啓発助成 小計 4件 79万円

交通安全等 合計 21件 1,617万円

(内 明台産物社負担100万円)



## (2) 高齢者福祉

## ①研究助成

## a.国内

No.	研究代表者	研究課題	助成金額 (万円)
1	東京大学医学部附属病院 老年病科 講師 東 浩太郎	ビタミンKが高齢者の精神・行動へ及ぼす新規作用の解明 分子生物学から疫学まで	200
2	埼玉大学保健センター 准教授 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部 客員研究員 近江 翼	高齢精神障害者支援体制の構築に求められる諸課題の調査と考察	50
3	奈良学園大学保健医療学部 教授 大浦 智子	介護職員のリスク認知とストレスに焦点をあてた介護事故防止に関する研究:人・環境・管理的要因	110
4	信州大学 医学部 特任教授 大橋 俊夫	高齢者の熱中症予防のためのウェアラブル発汗計の開発	120
5	千葉大学フロンティア医工学センター/ 千葉大学大学院融合理工学府基幹工学 専攻医工学コース 教授 折田 純久	腰痛患者の選択的体幹サポートを実現する多フレーム型アクティブ装具の開発	100
6	慶應義塾大学 医学部生理学教室 助教 加瀬 義高	加齢による神経細胞の内在的変容の解析および抗老化因子の解明	140
7	広島大学大学院医系科学研究科 助教(テニュアトラック) 2020年度文部科学省卓越研究員 北嶋 康雄	タンパク質分解系の機能不全による筋量調節機構の解明	90
8	島根大学 医学部 神経・筋肉生理学 准教授 桑子 賢一郎	核を起点とした軸索制御システムの解明と脳老化予防への応用	110
9	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 助教 田中 真司	腎神経を標的とした慢性腎臓病新規治療法の開発	140
10	国立病院機構相模原病院 リウマチ科 医長 同 臨床研究センター 研究員 津野 宏隆	タンパク分解酵素の活性化のプロセスに着目した変形性関節症における軟骨変性機序の解明	110
11	国立長寿医療研究センター 主任研究員 中川 威	軽度要介護高齢者におけるウェルビーイング:悉皆調査による検討	110
12	東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻・医療倫理学分野 講師 中澤 栄輔	高齢者福祉政策の基盤としての老年哲学の混合研究法による再検討	100
13	広島大学大学院医系科学研究科 脳神経内科学 助教 中森 正博	パーキンソン病患者における誤嚥機序の探索と咽喉頭感覚神経電気刺激リハビリの有効性の検討	110
14	東京大学大学院医学系研究科 准教授 西 裕志	骨格筋の創傷治癒遅延に着目したサルコペニア発症メカニズム解明	110
15	千葉大学大学院医学研究院 薬理学 准教授 橋本 弘史	サルコペニアモデルラットにおけるオキシトシンの役割の検討	100

No.	研究代表者	研究課題	助成金額 (万円)
16	ジョンズホプキンス大学 医学部 精神行動科学部門 Research associate 長谷川 祐人	グリーンパティックスシステムに基づく加齢認知機能障害 の新規治療薬開発	130
17	立命館大学 薬学部 生体情報制御学研究室 助教 正木 聡	糖代謝酵素に着目した新たなサルコペニア予防法の 提案	110
18	筑波大学 医学医療系整形外科 講師 三浦 紘世	廃用症候群患者のADL 向上に向けたHAL 腰タイプ を用いたロボットリハビリテーションの安全性および有 効性の検討 - 多施設前向き非盲検化比較試験-	110
19	東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長 三浦 ゆり	グライコミクス・グライコプロテオミクスによる健康長寿 の機序の解明	130
20	大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 特任助教 山本 毅士	腎臓の老化に対抗する TFEB とオートファジーの協 調的な代謝調節機構の解明	130
21	岡山大学学術研究院 医歯薬学域 救命救急・災害医学講座 講師 湯本 哲也	蘇生を希望しない院外心停止患者における医療従 事者の診察に関する実態調査	55
22	埼玉医科大学 国際医療センター婦人科腫瘍科 教授 吉田 裕之	高齢がん患者における AI を用いた化学療法有害事 象予測モデルの開発	50
23	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 免疫機構研究部 研究員 和久(仲島) 由佳	CD45RB の発現亢進を介した加齢に伴う T 細胞機 能不全メカニズムの解明	120

研究助成 小計 23件 2,535万円

②著作・論文表彰

著者	題名	副賞 (万円)
東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 医療倫理学分野 教授 赤林 朗	【著作】 Bioethics Across the Globe 地球をまたぐ生命倫理	財団賞 50

著作・論文表彰 小計 1件 50万円

③施設・事業助成

No.	助成先	助成内容	助成金額 (万円)
1	社会福祉法人 佛子園	介護用福祉車両購入費用(石川県白山市)	100

施設・事業助成 小計1件 100万円

高齢者福祉 合計 25件 2,685万円

**合計(交通安全等・高齢者福祉) 46件 4,302万円**

(内 明台産物社負担100万円)